

【報告】神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会の開催結果について

1. 大会概要

(1) 開催期間 2024年5月17日(金)～25日(土) 9日間

<参考> 全体日程

イベント	日程
各国選手団 入国開始	5月12日(日)
各国選手団 練習開始	5月13日(月)
クラス分け	5月13日(月)～15日(水)
開会式(競技開始)	5月17日(金)
閉会式(競技終了)	5月25日(土)
各国選手団 出国最終日	5月26日(日)

※ 競技は、モーニングセッション(9:00～12:00)とイブニングセッション(17:00～20:00)に分けて実施。

(2) 競技会場 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

(3) 練習会場 神戸総合運動公園補助競技場、同球技場、しあわせの村多目的運動広場

(4) 参加者数 ① 選手団 104 各国・地域 1,978 人(うち選手 1,073 人)
② メディア 17 各国 385 人

(5) 観客数 計 84,004 人

日程	観客数	うち 学校観戦	
5月17日(金)	14,188 人	40 校	5,771 人
5月18日(土)	8,263 人	1 校	1,030 人
5月19日(日)	7,472 人	-	-
5月20日(月)	8,362 人	21 校	4,298 人
5月21日(火)	8,810 人	30 校	4,786 人
5月22日(水)	8,875 人	29 校	4,351 人
5月23日(木)	7,760 人	22 校	3,242 人
5月24日(金)	10,232 人	26 校	4,715 人
5月25日(土)	10,042 人	2 校	56 人
計	84,004 人 (9,334 人/日)	延べ(※) 171 校	28,249 人

※ 参加校は複数日に分けて来場している場合があり、実数は 129 校。

(6) ボランティア 1,567 人

(7) 実施種目 168 種目 (男子 92、女子 75、混合 1)

※ 21 の世界新記録が誕生。

2. 大会実施状況

大会理念 (①つなげる—パラリンピックムーブメントの継承とパラスポーツの振興、②ひろげる—国際親善の促進、③すすめる—インクルーシブな社会の実現) の実現に向けた「5つの柱」に沿って実施。

【1】選手の活躍を引き出す最高の舞台の実現

① 選手と観客が一体となった会場の盛り上げ



多くの観客による声援



増田会長による解説付き応援企画

② 東京 2020 パラリンピックを経験した人材による競技運営、医療サービスの提供



国際・国内技術委員 (200 人/日)



医療スタッフによる選手救護

③ 間近で観客に祝福される表彰式



メダリストと観客による記念撮影の様子

【2】 様々な支え手の力を結集した大会の運営

① 大会ボランティアによる運営サポート



② 特別支援学校の生徒によるおもてなし（喫茶の提供、会場や駅の清掃活動）



③ 大会スポンサーによる取組み



レーザー体験



選手への応援メッセージ

④ 協賛や寄附を通じた支援

大会スポンサー企業 31 社、ONE クラス応援寄附（学校観戦の支援）188 社・団体・人

【3】 パラスポーツを通じた障害や多様性への理解促進

① パラスリートや競技アシスタントによる体験型授業（R5 年度 60 校／累計 137 校）



パラアスリート(パラリンピアン)による授業



競技アシスタント「ガイドランナー」による授業

- ② 科学技術高等学校の生徒が製作した
競技用具の提供



- ③ イベントでのパラスポーツ体験（累計 73 回）
（競技用車いす(レーサー)・義足）



- ④ 学校観戦（129 校 28,249 人が参加）



【4】持続可能性への最大限の配慮

- ① （カーボンニュートラル）燃料電池車による会場ブースへの電力提供、
飲料水の輸送距離の短縮（採水地を市内に）



- ② （ダイバーシティ&インクルージョン）
宗教や文化に配慮した飲食の提供



- ③ （プラスチック削減）
環境配慮素材製の食器類の使用



④ (アクセシビリティ) 車いす席の整備、バリアフリートイレの配置



【5】世界に向けた兵庫・神戸の魅力発信

① 兵庫・神戸ブースでのPR (ユニバーサルツーリズム・観光情報の発信など)



② 海外メディア向けPR



メディアツアー



メディアセンターでのPR映像上映

③ 市内大学生・留学生と連携して開発した弁当販売



※ 写真左：神戸・兵庫の食材を使用した「兵庫・神戸の和の香りお弁当」

※ 写真右：海外の文化を楽しむ「ウィアーザ輪ルド弁当」